

上田市教育委員会 1月定例会会議録

1 日 時

平成26年1月16日(木) 午後2時30分から午後4時22分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	城下 敦子
委 員	小市 正輝
委 員	山崎 順子
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

武井教育次長、浪方教育参事、齋藤教育総務課長、倉島学校教育課長、浅野生涯学習課長、宮崎人権同和教育係長、土屋文化振興課長、佐藤スポーツ推進課長、水野丸子地域教育事務所長、柳沢真田地域教育事務所長、児玉武石地域教育事務所長、矢島丸子学校給食センター所長、神林中央公民館長、倉澤塩田公民館長、倉澤上田博物館長

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 上田市社会教育委員条例中一部改正について(生涯学習課)

資料1により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

(2) 平成27年上田市成人式の実施方法等について(生涯学習課)

資料2により浅野生涯学習課長説明

山崎委員

昨年と今年の2回、教育委員として成人式に出席した。今年出席した真田地区と創造館地区では、それぞれ運営している成人たちがとても生き生きと活動している姿が見られた。特に、創造館では、司会をした女性が1月12日は自分の誕生日であるということで、最後に誓いの言葉を述べていた。新成人たちが生き生きと活躍でき、自分たちの成人式だと実感できることから、今までどおりそれぞれの地区で成人式を執り行ったほうが、より強く印象として残るのではないかと改めて感じた。

城下委員

前回の会議では、せっかくだからという意味もあり、施設のPRにもつながることから新しい交流文化芸術センターで一堂に会してということも素晴らしいと思ったが、昭和55年から平成10年の間、一会場方式のときの大変な状況は議会でも問題として取り上げられたと聞いた。ただし、その頃とは子どもたちも時代も変わっているのではないかという気持ちもある。

今回出席したのは、五中区域の上野が丘公民館であった。始まる前はとても賑やかだったが、式典になったと同時に私語ひとつなく、式典としての意義を新成人がわかっており、きちんと式典に臨んでいる姿が見られた。実行委員も工夫されただろうし、参加する新成人の意識がきちんとしていたのだろう。

まったく今までどおりの方法が良いとは思わないが、一会場か分散型かといえば、やはり分散型のほうがより子どもたちは成人式の意義というものを感じられるのではないか。今年は、自分の子どもが成人式に参加させていただいた。顔見知りの新成人に聞いたところ、今までどおりがいいという意見の中に、できれば中学校ごとがいいという意見もあった。それは子どもたちの中に、成人式という意義よりも同窓会的な意味合いがとても強くあるからだと思う。

今までどおりの分散型が良いと思うが、運営や記念品等いろいろなことを改めてもう一度これまでどおりでよいか検討して来年につなげてもらいたい。

小市委員

それぞれの地において成人を祝うというスタイルがかなり定着してきていると、実際に出席して強く感じた。また、それぞれの新成人が自分たちで成人式を運営していこうという意識が働いていて、例えば、注意事項にしてもそうだが、誰かに言われるのではなく自分たちの中で大人のマナーとして気をつけようとアナウンスしていた。

ただし、将来にわたって、今の分散型がすべて良いとはいえない。今後、検討する余地も残す必要があるのではないか。記念品も地区によって違っている。この点も含めて、まだ検討す

る必要がある。

市民会館の会場が一番広く大きかったが、全体として整然としていて感動的な成人式ができたのではないかと感じた。ただし、会場に入るまでに時間がかかった。それぞれの中学校やクラス単位で話しをしながら移動にかなり時間がかかったため、これが一会場の大きな式典になると相当時間がかかるのではないかと感じた。

西田委員長

武石会場は32人と少ない人数であった。一人ひとりが前に立ち、自己紹介や近況報告、今後の抱負を述べており、皆の前に出て話ができるのは少人数のメリットだと感じた。32人では少し寂しい気もしたが、成人式の持つ意味に立ち返ると、それぞれの生まれた場所で育った者同士が、成長する姿をお互い確認しあうという面もあるだろう。今の論点では7か所か1か所かということになるが、例えば、7か所を3、4か所にするという答えもあるし、市民会館が交流文化施設として新しくなるというひとつのきっかけもある。新しい施設は、今後の使用状況や施設の雰囲気を含めて取り扱ったうえで使用することも良いのではないかと感じた。

これまで7、8回式典に出席しているが、おとなしくなり過ぎて心配な部分と、混乱が何もなくよかった部分と両方あった。秩序という意味からするとうまくいっていると思う。

会場ごとに特色は出しているが、パターン化してしまった感もある。新成人の運営委員がどれだけ自分たちの率直な意見や感想を出しているのか疑問に感じた。自分たちで発想して、実現できる余地があれば良いと思う。

成人式を新しい交流文化施設で行うという意見は、特別にはないということで承った。よって、教育委員の意見としては、従来どおり地域分散型で来年は運営してもらいたい。ただし、今後のことを考え合わせると、いろいろと改善していかなければならないという余地も残して教育委員の意見集約としたい。

全委員 了承

(3) 上田市公の施設の附属器具使用料等の徴収等に関する規則中一部改正について 〔市立美術館分〕(文化振興課)

資料3により土屋文化振興課長説明

城下委員

算出基準・算出方法は県内の類似施設を参考にしたとのことだが、その内容は市民に公表されているのか。

土屋文化振興課長

細かい算定方法までは公表されない。求められれば開示するが、広報やホームページなどには公開していない。

西田委員長

企画展示室1室の使用料はどの程度か。

土屋文化振興課長

1日単位の貸し出しとして19,300円であり、9時から5時までが1日となる。超過1時間につき3,600円である。ギャラリーは9,500円、アトリエは1,600円、子どもア

トリエについては無料である。

西田委員長

その使用料とは別に、更に冷暖房費がかかるということでしょうか。

土屋文化振興課長

そのとおりである。

全委員 了承

(4) 上田市教育委員会公印規則の改正について〔市立美術館関係〕(文化振興課)

資料4により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

3 報告事項

(1) 平成26年度当初予算の概要について(教育総務課)

資料5により齋藤教育総務課長・浅野生涯学習課長説明

西田委員長

学校関係の改築事業等で、二中の完成も含めると総額はかなりの額になるが、事業の受け手となる相手方が市内にどれだけあるのか心配になる。具体的には工事業者だが、見通しはあるか。

齋藤教育総務課長

工事の本数が多いので心配している。市長部局でも入札に参加する業者の検討をしなければならぬとしているが、具体的な内容はまだ承知はしていない。契約課との協議の中でどういう形で発注することが良いか工夫していきたい。また、資材の調達についても予定価格どおり落札されるのか危惧するところであり、その点については財政課に配慮を求めている。

西田委員長

教育委員会としては、良い学校施設が早くできるよう願うところである。早く予算を獲得し実行に移してもらいたい。問題は、建設業者等の体制が不十分だと仕上がりや納期に関しても心配である。また資材確保の能力が業者の大小によって変わることも心配である。市とすれば、業者を育成するという役割もあるかと思うが、極力、期日と質の両面で満足できるように実施してもらいたい。

小市委員

この予算概要はホームページなどで公開されるのか。

齋藤教育総務課長

このままではないが、議会に予算として提案されるときに財政部のつくる予算の概要とし

て公表される。

小市委員

改築や耐震という名目で、個別に学校名も出るか。

齋藤教育総務課長

予算の概要の資料には個別に学校名が出る。

小市委員

例えば、第四中学校の改築事業とあり、これは屋内運動場の改築事業だと思われるが、知らない人が見ると校舎の改築だと誤解を受ける。外に出るものであれば、誤解されないように明記しておいたほうがよい。

西田委員長

生涯学習分野の重点分野への取組で、丸子文化会館自主文化事業では、交流文化芸術センターと協議・調整するとあるが具体的な説明がほしい。

水野丸子教育事務所長

交流文化芸術センターの自主文化事業と丸子文化会館の自主文化事業とが、地域や内容等にダブリがないか、あるいは全く相反するものになっていないかなど、調和がとれるように話し合っ決めていくということである。

西田委員長

地域ごとの歴史的な経過と、新しい文化交流施設の利用など観点がいろいろある。事業の全部が中心部に集まることのないよう協議・調整をお願いしたい。

小山教育長

今年のニューイヤーコンサートを丸子文化会館でやったが、できるだけ事業を分散し交流文化施設に集中しないように丸子地域でもやっている。丸子文化会館と音楽村が中心だが、できるだけ分散してやるための計画も立てている。こけら落とし以降の事業計画も同様である。

西田委員長

学童会館を一部廃止するとあるが具体的にどこか。

浅野生涯学習課長

御所の学童会館である。昭和45年に建てられたものであり、現在、子どもたちが利用しない状況である。

全委員 了承

(2) さくら国際高等学校の学校評価について(教育総務課)

資料6により齋藤教育総務課長説明

西田委員長

最終的には学校法人になることも市としてバックアップするということが。

齋藤教育総務課長

法人化そのものについて、市として直接的にバックアップということではない。ただし、法人化に当たっては、学校施設は地方公共団体から賃貸されるということなどが条件になるため、そうした面では協力していくことになる。

全委員 了承

(3) 学校教育関係寄付の状況(学校教育課)

資料7により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

(4) 4大学リレー講座2013「未来学科」事業報告(生涯学習課)

資料8により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

(5) 生涯学習シンポジウム2013事業報告(生涯学習課)

資料9により浅野生涯学習課長説明

城下委員

上田市内のあちこちに戦争遺跡があるのだと改めて認識して驚いた。アンケート結果にもあるように、ケーブルテレビ放送はされたが市販もしてほしいという意見があった。市販まですでなくても学校に記録映像の貸し出しなどがあると、戦争を考える学習がある際に子どもたちにも分かりやすく良いのではないか。

浅野生涯学習課長

1月6日の校長会においてすべての小中学校に配付した。また、市内の6つの高校にも届けてある。上田市の行政チャンネルでも、このときの記録映像をそのまま放送したいということになっており、それはYOUチューブにも載せて誰でも見られるように計画している。

山崎委員

今回、パネリストに3人の高校生が入っている。後世に伝えるという意味でも、高校生が年長者たちと戦争を語り合っていることが素晴らしいと思いながら観た。

今回の3つの高校の人選について何かきっかけがあれば教えていただきたい。

浅野生涯学習課長

上田東高校については、小県蚕業学校当時に空襲を受けたことから生徒に事前インタビューをしており、その中の1人が参加している。上田千曲高校については、上田飛行場跡地であることから、これも事前にインタビューして代表の人に出てもらっている。丸子修学館高校については、最新作の演劇作品として長崎の原爆をモチーフにした芝居をつくっており、

その演劇部の代表に出てもらった。

全委員 了承

(6) 平成26年成人式実施報告(生涯学習課)

資料10により浅野生涯学習課長説明

山崎委員

欠席した人の記念品についてのフォローはあるか。

浅野生涯学習課長

出席者だけに贈呈している。

城下委員

武石は昨年も出席率がよかったが、何か秘策はあるのか。

児玉武石教育事務所長

特にはないが、対象者が少なくそれぞれ一人一人の顔を承知しているからだと思われる。

全委員 了承

(7) うえだ人権フェスティバルの開催について(生涯学習課)

資料11により宮崎人権同和教育係長説明

全委員 了承

(8) 第13回うえだ子ども文化祭の開催について(文化振興課)

資料12により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(9) 平成25年度シリーズ文化講演会の開催について(文化振興課)

資料13により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(10) スポーツ関係市長表敬訪問者報告(スポーツ推進課)

資料14により佐藤スポーツ推進課長説明

全委員 了承

(11) 行事共催等申請状況について(学校教育課・生涯学習課・文化振興課)

資料15 - により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

資料 1 5 - により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

資料 1 5 - により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

4 その他

・神林中央公民館長より公民館だよりの説明

全委員 了承

閉会